

# 入札説明書等に対する質問回答書

大戸(コボー沢)地区予防治山工事

質問事項	回答事項
5号鋼製枠土留工、設計書では、詰石の施工がバックホウ山積0.8m <sup>3</sup> (0.6m <sup>3</sup> )2.9t吊(クローラ)となっておりますが、勾配が急勾配で施工場所までの運搬施工が不可能ではないかと思われませんかでしょうか。	当工事については、三者会議を開催いたしますのでその中で確認、検討の上変更協議対象といたします。
5号鋼製枠土留工の詰石材(現地発生土砂) 現地法面に仮置きとなっておりますが、法面の勾配が急勾配で堆積殻の為降雨などで流れる危険があるので現地ストックは難しいと思われませんかでしょうか。	当工事については、三者会議を開催いたしますのでその中で確認、検討の上変更協議対象といたします。
5号鋼製枠土留工、RCM床掘工のRCM-03の機械を支えるアンカー(立木)が無く、確保が難しいと思われませんかでしょうか。	当工事については、三者会議を開催いたしますのでその中で確認、検討の上変更協議対象といたします。
モノレール架設についてレールポイント部から1号ロープネット工施工箇所まで下り勾配となっているため資材運搬が難しいと思われませんか。また、モノレール架設に当たり、レールポイント部の傾斜勾配が急であり2路線同時施工は困難と考えられませんかでしょうか。 尚、各工種別にモノレールを架設しての施工は、工程的に厳しいのではないのでしょうか。	モノレール架設ルートについては現地踏査の結果必要に応じて変更の対象として協議いたします。また、上記と同様三者会議の中で確認検討の上、協議させていただきます。